

大賞に輝いた関口恒男さんの「ポートアイランドレインボーハット」＝神戸市



神戸ビエンナーレ2011

神戸ビエンナーレ2011の「しつらいアート国際コンペティション」で、鹿沼市のアーティスト関口恒男さん(55)の虹が映るテント「ポートアイランドレインボーハット」が大賞に輝いた。人々が自由に集い、踊れる場所として制作した。

鹿沼の関口さん

関口さんは「私はいつも人々が自由に踊れる空間を制作してきた。受賞はとてもありがたい。これからもこのような場を作りたい」と話している。

同コンペティションは神戸港のポートアイランドしおさい公園を舞台に、場所性などを生か

虹が映るテントが大賞

した空間創造を提案する野外インスタレーションのコンペ。今回が初開催で、国内外から43作品の応募があった。

関口さんの作品は高さ3・5メートル、長さ14メートル、幅7メートルのひょうたん状のテント。水を入れた鏡を配置し虹を映す。ヘッドホンもあり、来場者が音楽を聴きながら自由に踊れる。エコロジカルな視点などが高く評価された。

関口さんは越後妻有^{つづみ}アートトリエンナーレに出品を続けている。昨年夏には県立美術館の企画展「イノセンス」でワークショップを実施した。

同ビエンナーレは11月23日まで、神戸市で開かれている。